

○植物名稱問答

理學博士 白井光太郎

私ハ近比或人ヨリ左ノ如キ質問ヲ受ケテ左ノ如キ答ヲ致シマシタ古書ヲ讀マル、人ノ參考ニモナランカト貴誌ニ掲載セラレントヲ乞フ尙誤答ニ氣付カレタル方モアラバ御注意アランコトヲ願フ

水谷豊文木曾採藥記中ノ文字

(1) 水胡椒ノ一種

(葉ニ岐多ク莖高二尺餘ニ至ル)

○オトコゼリノ類ニ候ヤ

(2) 水蓑葉敗醬

キンダンクワ

○白山オミナヘシノコトニ無之ヤ

(3) 淡祀姑

上松ノシャウリシマノ產
上品ナリ

○祀ノ字杞ノ字トモ見エル書體不明

(4) ミュギュエット

○シソノロ

(5) 玉宿草

○ワウレンジュ方言カハラウツギ

(6) 丁字ギキヤウ

○菊葉ヤクシサウ

(7) カヲリ升麻

○ガベ方言タシベイサウ

(8) 伊吹升麻

○ガベルハムシカリ

(9) 錦雞兒

方言ウグヒスカヅラ

○ト存ズレドモ

○或ハローカ書體不

(10) 而シテ別ニ驢駝布袋

方言シベトリクミ(他所ニ)

アリ

○マツムシサウニテハ無之候ヤ

○コシホガマギクナ

(20) 玉繤花

方言ケンカノシリモチ

○明

(22) アキウメバチ
 (23) シノハチレンダ
 (24) 白花ノヤマワラ

(1) 有毒草木圖說ニ水胡椒ヲきつねのぼたんニ充ツサレバ葉ニ岐多キトアレバおとこゼリ又ハこきつねのぼたんノ中ナルベシ

(2) ハクサンオミナヘシ一名キンダンクワ草木名寄ニ出ヅ

(3) 淡祀姑ハ普通煙草ヲ淡把姑ト書スル事アリ是ナルベシ

(4) ミギュエット 木屋草一名にほひれせだノ事ナラン レセダオドラタノ名草木名寄ニ出ヅ此比舶來アリシナラン

(5) 玉宿草 岩崎常正ノ救綱外篇ニ ムカゴ毒麻一名玉宿草尾州トアリ

(6) 丁字ギキヤウ 是ハしでしゃじんノ一名ナリ

(7) カヲリ升麻 物品識名ニみづつき升麻一名せりもどきアリカヲリヲ香氣ノ事トスレバせりもどきナランカ

(8) 伊吹升麻 此條未詳いぶきせりもどきトイフ草アリコレナランカ

右 答

(22) ○コレハ白鬚サウノ ランカ

(23) ○救荒本草ノ山蔓菁
 形ニ四角ノ類ニテ一葉ノ長三尺許スリバチノ
 リバチレンドノコトナリ
 ○何物ニ候ヤ

(24) ○ヤマワラハ松ノ木
 ハダト聞及候然ラバ
 ミヤマホツ、ジニテ

(25) ○山蔓菁 キクナ

モ候哉或ハ白花ノホ
 ツ、ジノコトニヤ

○救荒本草ノ山蔓菁
 ハ普通ノまつむしさ
 うニ充ツキクナハシ
 ユンギクノ事ト聞及
 ビ候ガイカヽ

(9) 錦鷄兒 舊本草家ハつくばねうつぎ一名こつくばねニ此漢名ヲ充ツ

(10) 驢駝布袋方言ナハシログミ ハうぐひすかぐらノ事ナリ上總ニモ此方言アリ

(11) アカヅル ハあかねかづら一名行者かづら一名くろづるノ事ナランカ

(12) 大葉アカヅラ 木曾ニテあかづらト云フハゑごのきノ事ナレバ大葉あかづらハ小白雲木カ白雲木カノ中ナルベシ併シ白雲木ハひとつば、おほばちしゃ等ノ方言アレバ是ハ小白雲木ナルベシ

(13) シンノロ 未詳是ハシンノロ一ロカシシノロウバイカノ誤寫ニ非ズヤト思ハル

(14) ワウレンジュ 物品識名ニわうれんじゅ一名どくうつぎノ名出ヅ

(15) 菊葉ヤクシサウ 是ハ薬師草ノ缺刻深キ個體ト存ラレ候

(16) ルリテウサウ 是ハらしゃうもんかづらノ一名ナリ救綱外編ニ出ヅ

(17) ガベ むしかりノ事ナリ日光ニテ加藤吉藏トイフ案内者越後生レノ樵夫ナリシガおほかめの木ヲたんべいさうト呼ベリ木曾採藥記ニハがペ一名きそむしかりト記シアレドモみづあふヒト云フ木ニモむしかりノ方名アレバ區別ノ爲木曾ノ字ヲ加ヘシナルベシ

(18) ワルメーステル 是ハクルマバサウノ事ナリ獨逸ニテワルドマイステルト唱フ

(19) ロヽ 漏盧ノ事ナランひごたいもどき、ひきよもぎ等ノ漢名トス本草啓蒙參照アリタシ

(20) 玉毬花 蘭山ノ花彙ニまつむしさうノ漢名トセリ

(21) タブリサウ 岩崎氏救荒本草通解ニこしほがまノ一名ニたゞりさうヲ掲グ

(22) アキムメバチ 本草要正ニむめばちさう一名あきむめばち一名のむめトアリ

(23) シノハチレンド 田中氏羊齒分科名彙未檢品ノ部ニシのはぢれんだ一名おにしだトアリ大和本草批正ニ大和本草ノおにしだヲいぬがんそくニ充ツ犬がんそくハ田中氏ノ羊齒分科名彙ニ一名へびのせた一名いぬ

くさそてつ一名へびがんぞく一名おほかぐまとアリ植物名鑑ニおほくさそてつト出ヅ是ナルベシ
 (24)白花ノ山ワラ普通ノ山わら即ほつゝじは枝ヤ萼紅色ナレバ紅花ト看認シムヤまほつゝじヲ白花ト云ヒシ
 ナルベシ

(25)山蔓菁和名ヲきくなトイフ者よめな、まつむしさう、しゅんぎく等アリ此處ノきくなハまつむしさうニ
 必セリ此ニ山蔓菁ヲ充テシハ水谷氏ノ思ヒ達ヒニテ山蘿葛ト書ク可キヲ連想ヨリシテ山蔓菁トセシナラン
 別ニ玉球花ヲまつむしさうニ充テ掲ゲアレドモ是ハ別名ヲ採用シ名ヲ互ニ換ヘ用ヒシ事ト思ハレ候

以
上

○分類學ノ優越性ヲ高唱スル

久内清孝

現行刑事訴訟法第百三十三條ニハ「被告人ニ對ジテハ先づ其人達ナキコトヲ確ムルニ足ルベキ事項ヲ訊問スペ
 シ」トアルカラ公判ニ際シ裁判長ハ被告人ノ原籍住所氏名年齢其他ヲ訊問スル例ニナツテ居ル然ルニ或被告人
 ハ之ヲ形式的ノ訊問ト早合點シソンナコトハソツチデヨク判ツテキルダロウナドト裁判長ニ劍突ヲ喰ハシタリ
 スルコトノアルノハヨク新聞ノ社會記事デ見ル所デアル、一般植物學ノ事項ヲ處理スルニモ此ノ刑訴百三十三
 條ノ規定ト同一ノ手續ヲ經ナケレバナラナイノデアルガ其手續ハトリモナホサズ先づ分類學的ノ調查ヲスルコ
 トデアルサレバ植物分類學ト云フモノハ一個ノ獨立シタ一分科デアルト同時ニ植物學ノ各分科ニ對シ絕對的權
 威ヲ持ツ學科デアルト言フコトガ出來ル即チココニ分類學ノ優越性ガ存スルノデアル
 元來植物分類學ハ植物學ノ本體デアッテ他ノ分科、例セバ生理、解剖、細胞、地理、形態等ノ學ハ分類學ヲ基調
 トシテ其上ニ、又ハ之ヲ圍繞シテ發展シ行クベキモノデコレハ東西ノ植物學發達ノ歴史ノ上カラ見テモ當然ノ